

英語科 1年生

目標の生徒像

- ① 英語を使ったコミュニケーションを通じて、自己肯定感と達成感・自信を持ち、相手の立場に立って考え、違いを認め、互いの良さを知ることができる。英語の楽しさを知るとともに、授業と家庭学習の方法を身につけ、間違いが学習を促進し、力を伸ばすことを知り、実践しようとする意欲を持つ。
- ② 英語の楽しさを知るとともに、教えあい活動を楽しみ、そこで生じる問題を克服しようとする。また、授業と家庭学習の方法を身につけ、間違いが学習を促進し、力を伸ばすことを知り、実践しようとする意欲を持つ。
- ③ 自然な口調で話される短い英語を聞いたり読んだりして、場面や状況に応じて相手が伝えたいことを理解することができる。フォニックスの知識を利用して、初めて見る語を読むことができる。
- ④ 既習事項を使って、自己・他己紹介、自分の典型的な一日を説明することができ、またそれについて、感情を込めたスピーチをすることができる。

年間計画

単元タイトル	学習内容
Alphabet	アルファベット、ローマ字、辞書の使い方
L1 I am Tanaka Kumi	be 動詞(am,are),あいさつ、自己紹介
L2 My School	be 動詞、疑問詞 what、三人称(he, she) 学校案内
L3 I Like Soccer	一般動詞 好きなこと
L4 Field Trip	複数形、数のたずね方(how many~?), 命令文 校外学習
L5 Our New Friend	疑問詞(who, where, when) 代名詞(him, her) 新しいクラスメイト
L6 My Family	三人称単数現在 イギリスの文化
L7 Sports for Everyone	助動詞 can いろいろなスポーツ
L8 School Life in the USA	現在進行形 外国の中学校生活
L9 Four Seasons	一般動詞の過去形 日本の身近な年中行事
LR1 Alice and Humpty Dumpty	文学

* 単元によってスピーチや暗唱、対話、聞き取り、英作活動なども行います。

教科の先生からの助言

授業の受け方

◎忘れ物をしないようにしましょう

「教科書」「副教材」「A・B・C ノート」「ワークブック」「ファイル」など、どれも学習する時に必要なものです。宿題も含めて忘れ物は厳禁です。自分が大事だと思ったことをチェックしたり、まとめたりして、積極的に授業内容を深める工夫をしましょう。

◎しっかりと英語を聞き、積極的に音読しよう。

英語の時間にはたくさん英語を話し、繰り返して音読をする時間があります。自分だけでなく CD のモデルや先生、ペアの話す英語をしっかりと聞くことが大切です。小さな声でボソボソと声を出すのではなく、間違ってもいいからモデルをよく聞いて英語を体にしみこませるように何度も音読しましょう。ジェスチャーなどを使ったり主人公になりきって感情を込めたりするとより効果的です。

◎たくさん書いて練習しよう。

音読し、暗唱ができるくらい言えるようになったら、今度はその英文を書くことができるように練習しましょう。授業で使うワークシートなどを使って、少しずつ長いフレーズや文を書くことができることを目指しましょう。時間を空けて自己テストをすると効果的です。

家庭学習の仕方

授業で習ったことを必ず復習をします。日本語訳をもとに本文を英語で書くことができるよう練習しましょう。ドリルなどの文法練習もすぐに答えを見るのではなく、間違ったところを何度も取り組むようにしましょう。自己表現の英文は、先生にチェックしてもらい、何度も練習しましょう。

評価について

評価の観点	評価の内容
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語を使った活動に対する積極的な参加、ペアワーク・グループワークの取り組み、提出物など
② 表現の能力	小テスト、定期テスト、レポート、音読インタビューテスト、スピーチなど
③ 理解の能力	小テスト、定期テスト、リスニングテスト、長文理解のテストなど
④ 言語や文化についての知識・理解	小テスト、定期テスト、レポートなど

* その他

・辞書を引いて調べる習慣をつけましょう。

語学学習に辞書は欠かせません。意味のわからない単語、知らない単語を目にした時にはすぐ辞書を引く習慣をつけましょう。

・「NHK ラジオ基礎英語」や英検にもチャレンジしてみよう。

余裕があれば、毎日英語に少しずつでいいから触れるようにするのが英語学習のコツです。リスニングは英語学習の基礎力です。聞く力がつけば、話す力、読む力、書く力が伸びます。ねばり強くとりくんでいきましょう。

英語科 2年生

目標の生徒像

- ① 英語を使ったコミュニケーション活動を通じて、自己肯定感と達成感・自信を持ち、相手の立場に立って考え、違いを認め、互いの良さを知ることができる。
- ② 教え合い活動などのコミュニケーション活動を通じて、行間を読み、言葉の重さ、深さを知るなど、コミュニケーションへの積極的な意欲・態度をもつ。
- ③ 自然な口調で話される英語を聞いたり読んだりして、場面や状況に応じて相手が伝えたいことを理解することができる。
- ④ 自分の夢や就きたい職業、学校紹介などについて、既習事項を使って、感情をこめて簡単なスピーチをすることができ、その感想を理由をつけて表現することができる。
- ⑤ コミュニケーションの手段としての英語の基本的な語彙と文法を理解し、使うことができる。

年間計画

単元タイトル	学習内容
L1 Aloha!	一般動詞の過去形 ハワイの伝統文化
L2 Peter Rabbit	be 動詞の過去形, 接続詞 when, 過去進行形 (イギリスの児童文学)ピーターラビットの物語
L3 The Ogasawara Islands	未来を表す表現 will, be going to, 接続詞 that 自然環境・世界遺産
L4 Enjoy Sushi	There is(are)~, 動名詞 日本の地域と食文化
LR1 A Pot of Poison	日本の古典芸能
L5 Uluru	第4文型(SVOO), 第2文型(SVC)の V が一般動詞のもの 旅の楽しさ, 地域の文化
L6 My Dream	不定詞(名詞, 形容詞, 副詞用法) 自分の将来像, 将来の夢
L7 Presentation	比較(原級, 比較級, 最上級) 通信手段とコミュニケーション・調査結果のプレゼンテーション
L8 India, My Country	受け身形 多言語の国インド
LD2 Landmines and Aki Ra	平和への社会貢献

* 単元によってスピーチや暗唱、対話、聞き取り、英作活動なども行います。

教科の先生からのアドバイス

授業の受け方

◎授業準備をしっかりと。忘れ物をしないようにしましょう。

「ノート」「教科書」「ワーク」「ファイル」, どれを忘れても授業で十分に学習することができません。宿題も含めて忘れ物はなくしましょう。

◎積極的に声を出そう。

英語の時間にはたくさん英語を話したり繰り返して読む練習をしたりする時間があります。恥ずかしがって小さな声でボソボソと声を出すのではなく、間違ってもいいから大きな声で元気よく英語を話すことで、体全体で英語を覚えましょう。

◎しっかりと話を聞き、自分のノートにまとめよう。

黒板に書かれたことをノートに書くだけではなく、自分が大切だと思うところや覚えにくいなあと感じる場所はメモをしたり線を引いたりするなど、工夫をしてノートをまとめましょう。そのためには先生の話のしっかりと聞くことが大切です。

家庭学習の仕方

授業中で音読し、暗唱ができるくらい言えるようになったら、家庭ではその英文を書くことができるように練習しましょう。自習ノートなどを作り、少しずつ長いフレーズや文を書くことができることを目指しましょう。

評価について

評価の観点	評価の内容
① コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	英語を使った活動に対する積極的な参加、ペアワーク・グループワークの取り組み、忘れ物の有無など
② 表現の能力	小テスト、定期テスト、音読 インタビューテスト、スピーチなど
③ 理解の能力	小テスト、定期テスト、暗唱 リスニングテストなど
④ 言語や文化についての知識・理解	小テスト、定期テストなど

その他

・辞書を引いて調べる習慣をつけましょう。

語学学習に辞書は欠かせません。意味のわからない単語、知らない単語を目にした時にはすぐ辞書を引く習慣をつけましょう。単語の読み方が書いてあります。意味もよく使う順に詳しく説明されています。もし辞書をまだ持っていなければ自分が見やすいもの、使いやすいものを書店で選び、購入するのもいいでしょう。

・「NHK ラジオ基礎英語」や英検にもチャレンジしてみましょう。

余裕があれば、毎日英語に少しずついいから触れるようにするのが英語学習のコツです。リスニングは英語学習の基礎力です。聞く力がつけば、話す力、読む力、書く力が伸びます。ねばり強くとりくんでいきましょう。

英語科 3年生

目標の生徒像

- ① 英語を使ったコミュニケーションを通じて、自己肯定感と達成感・自信を持ち、相手の立場に立って考え、違いを認め、互いの良さを知ることができる。
- ② 豊かな気持ちで作品を鑑賞、感動することができる。また世界の動向や矛盾に興味を持ち、世界平和のために何ができるのかを考える。
- ③ 自然な口調で話される英語を聞いたり読んだりして、場面や状況に応じて相手が伝えたいことを理解することができる。
- ④ 日本的な事物、奈良の世界遺産を英語で説明することができるなど、既習事項を使って事柄の定義や違いをあらわすことができる。また感情を込めたスピーチをすることができる。
- ⑤ 英語を自分と周囲の人のために使う大切な手段とするための基本的な語彙と文法を身に着けている。

年間計画

単元タイトル	学習内容
L1 My Favorite Words	受け身形(復習) ことばの持つ力
L2 France - Then and Now	現在完了形(継続用法) 日本とフランスの文化交流
L3 Rakugo Goes Overseas	現在完了形(完了用法・経験用法) 日本の伝統文化の発信
L4 The Story of Sadako	第5文型(SVOC)、It ~ (for A) to... 広島原爆・平和
LR1 Dolphin Tale	生命の尊重
L5 Places to Go, Things to Do	関係代名詞(主格・目的格) 世界のさまざまな地域
L6 I Have a Dream	後置修飾(現在分詞・過去分詞・接触節) アメリカの公民権運動
L7 English for Me	want + A + to ~、間接疑問 英語を学ぶ意義
LD2 We Can Change Our World	創意工夫・社会貢献
LD3 The Story of Nishikori Kei	自身の生き方

* 単元によってスピーチや暗唱、ディスカッション、面接、英作活動なども行います。

教科の先生からの助言

授業の受け方

◎忘れ物をしないようにしましょう

「教科書」「副教材」「A, B ノート」「ワークブック」「英語用ファイル」など、どれも学習する時に必要なものです。宿題も含めて忘れ物は厳禁です。自分が大事だと思ったことをチェックしたり、まとめたりして、積極的に授業内容を深める工夫をしましょう。

◎しっかりと英語を聞き、積極的に音読しよう。

英語の時間にはたくさん英語を話し、繰り返して音読をする時間があります。自分だけでなくCDのモデルや先生、相手の話す英語をしっかりと聞くことが大切です。小さな声でボソボソと声を出すのではなく、間違ってもいいからモデルをよく聞いて英語を体にしみこませるように何度も音読しましょう。ジェスチャーなどを使ったり主人公になりきって感情を込めたりするとより効果的です。

◎たくさん書いて練習しよう。

音読し、暗唱ができるくらい言えるようになったら、今度はその英文を書くことができるように練習しましょう。授業で使うワークシートなどを使って、少しずつ長いフレーズや文を書くことができることを目指しましょう。時間を空けて自己テストをすると効果的です。

家庭学習の仕方

授業で習ったことを必ず復習をします。日本語訳をもとに本文を英語で書くことができるよう練習しましょう。ドリルなどの文法練習もすぐに答えを見るのではなく、間違ったところを何度も取り組むようにしましょう。自己表現の英文は、先生にチェックしてもらい、何度も練習しましょう。

評価について

評価の観点	評価の内容
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語を使った活動に対する積極的な参加、英語の歌、ペアワーク・グループワークの取り組みなど
② 表現の能力	小テスト、定期テスト、レポート、音読インタビューテスト、スピーチなど
③ 理解の能力	小テスト、定期テスト、教科書本文の暗唱リスニングテスト、長文理解のテストなど
④ 言語や文化についての知識・理解	小テスト、定期テスト、英語の歌、レポートなど

* その他

・辞書を引いて調べる習慣をつけましょう。

語学学習に辞書は欠かせません。意味のわからない単語、知らない単語を目にした時にはすぐ辞書を引く習慣をつけましょう。

・「NHK ラジオ基礎英語」や英検にもチャレンジしてみよう。

余裕があれば、毎日英語に少しずついいから触れるようにするのが英語学習のコツです。リスニングは英語学習の基礎力です。聞く力がつけば、話す力、読む力、書く力が伸びます。ねばり強くとりくんでいきましょう。